

文書館 もん じよ かん ニュース

山口県文書館

Yamaguchi Prefectural Archives

No.43

CONTENTS

■特集 写真で見る 山口県文書館50年のあゆみ …… 4

■写真MEMO 2008

中国四国地区 アーカイブズウィーク、文書の中の篤姫を探せ！ ……

■新しい目録を刊行しました

20年度新収諸家文書を紹介します …… 6

特集 写真で見る 山口県文書館50年のあゆみ

収蔵文書

藩政文書



開館以来、最も多くの方々に閲覧利用されてきたのが毛利家文庫、徳山毛利家文庫などの藩政文書群です。

行政文書



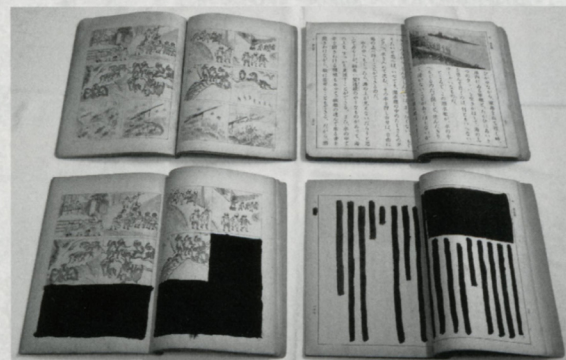
明治以降の山口県の歩みを示す歴史的公文書のうち、明治～昭和戦前期の文書は平成17年に「山口県行政文書」として国の重要文化財に指定されました。

行政資料



山口県をはじめ、県内の諸団体、組織が作成した刊行物(冊子・ポスター・地図・写真等)も積極的に引き継ぎ・収集を行っています。

特設文庫



「教科書文庫」「雑誌文庫」「新聞文庫」など、文書館が、資料の特色とその利用を考えて創り出した文書群です。

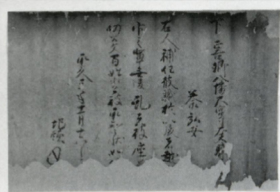
諸家文書



この50年間で、300を超える家、個人、団体から11万7千点に及ぶ文書記録の寄贈・寄託を受けました。中世から現代に至る山口県の歴史を物語る貴重な文書群です。



有光家文書の受託(昭和55)



修復後の有光家文書(平成4年国指定重要文化財)

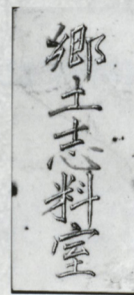
文書館誕生前夜 ~図書館郷土志料室から文書館へ~



毛利家文庫のくん蒸作業(昭和29)



鈴木賢祐山口図書館長

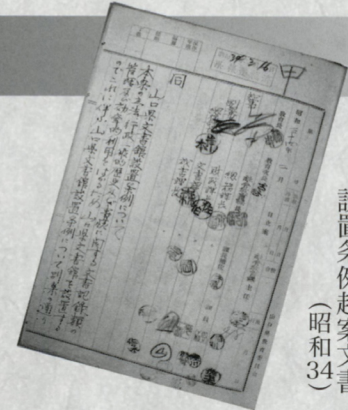


郷土志料室の看板

山口県文書館の誕生



文書館開館式(昭和34)



設置条例起案文書(昭和34)



開館当時の看板

昭和二十七年、旧萩藩主毛利家から毛利家文庫約五万点が山口県に寄託されました。これをきっかけに鈴木賢祐らは欧米のアーカイブズ制度を研究し、文書館設立が構想されました。その努力が実り、昭和三十四年、山口県に全国初の「文書館」が誕生します。

施設の移り変わり

山口県文書館 3階

春日山館舎



館舎全景(文書館は3階部分)



文書館玄関(昭和36)



閲覧室(昭和44)



新館舎への移転作業(昭和48)

現館舎



新館舎の完成(昭和48)



現在の文書館入口



現館舎閲覧室(昭和48ごろ)

昭和三十四年の開館以来、文書館は県立山口博物館の隣、県立山口図書館(春日山館舎)の三階にありました。その後、建物の老朽化と書庫スペース拡充のため、昭和四十八年に現在の後河原に移転し、今日に至っています。

さまざまな普及活動

館の活動を理解してもらうため、さまざまな普及活動も積極的に行ってきました。平成十八年度からは毎年六月、中国四国地区の文書館・公文書館等が連携して「中国四国地区アーカイブズウィーク」を開催し、歴史探究講座や書庫見学ツアーなどを展開しています。毎年開催している「古文書入門講座」「古文書専修講座」も人気が高く好評を得ています。またホームページも開設し、利用者の便宜に配慮するよう努めています。



古文書基礎講座開始(昭和58)



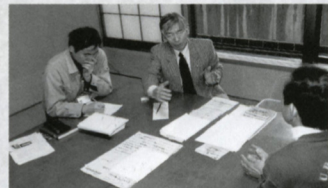
県下各地での歴史講座(平成6)



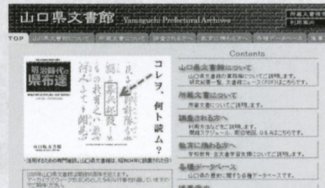
古文書活用講座での書庫見学(平成5)



開館30周年記念
司馬遼太郎氏講演会(平成元)



古文書何でも相談
[第3回文書館デイズ]
(平成16)



ホームページ上での情報発信(平成15~)



中国四国地区アーカイブズウィーク[左から「特別資料展示」(平成18)・「歴史探究講座」(平成19)・「アーカイブズ歴史小話」(平成20)]

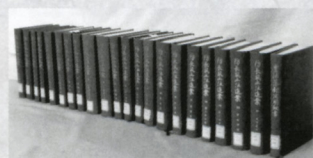


出版事業

館蔵文書が広く一般に知られ、その利用が促進されるように『防長風土注進案』『萩藩閥閥録』をはじめとする史料集や、『毛利家文庫目録』『行政文書目録』などの目録を刊行してきました。その他、毎年発行の『文書館ニュース』『山口県文書館研究紀要』で文書館のPRや研究成果を発表しています。



『毛利家文庫目録』(昭和38~53)



『防長風土注進案』(昭和35~40)



注進案原本395冊の一部



『萩藩閥閥録』(昭和41~45・別巻昭和63)



『山口県政史上・下』(昭和45)

おもな刊行物

(文書目録)

(県内所在史料目録)

(研究紀要)

(山口県史料 全4巻)

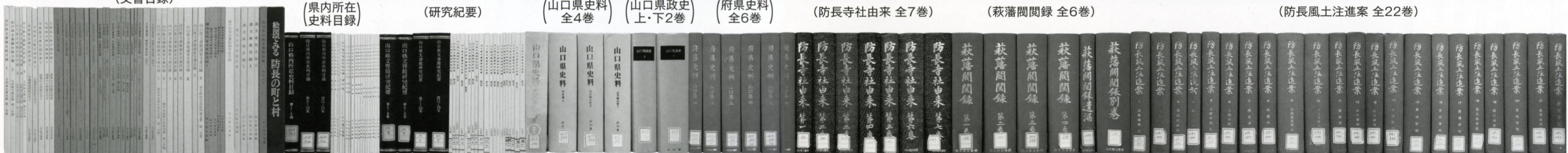
(山口県政史 上・下2巻)

(府県史料 全6巻)

(防長寺社由来 全7巻)

(萩藩閥閥録 全6巻)

(防長風土注進案 全22巻)



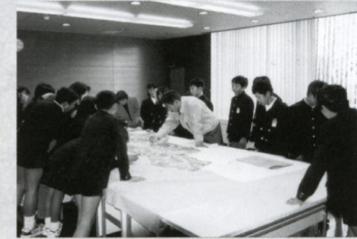
多彩な利用者・来館者



皇太子殿下(平成2)



英国学士院サークス博士(昭和59)



阿東町立さくら小学校(平成13)



参議院文教委員一行(昭和60)



中国山東省使節団(昭和54)

文書館にはこれまで、各方面からの利用者・来館者がありました。統計をとりはじめた昭和四十四年度以降、七万人を超える方々に利用されています。

調査・文書保存支援



市町村役場文書管理・保存担当者研修会(平成16)



地方調査員会議(昭和48)



旧市町村役場文書の所在調査(平成16~18)



文書の補修作業(昭和49)



文書所蔵先での調査(平成11)

文書館は昭和四十六年度から県内各地に地方調査員を置き、文書の所在情報の把握に努めています。また、平成十六~十八年度には市町村合併に伴う公文書保存支援活動を行いました。

第三回中国四国地区アーカイブズウィーク

「吉田松陰自賛肖像展」

平成二十年六月一日(日)から八日(日)にかけて、第三回中国四国地区アーカイブズウィークを開催しました。

今回のアーカイブズ展示は、吉田松陰自賛肖像・絶筆・松下村塾の修復を記念し、これら三幅を修復後、初公開しました。七日(土)の歴史探究講座では、「吉田松陰の手紙を読む」(萩博物館研究員道迫真吾)、「吉田松陰関係資料について」(当館専門研究員山崎一郎)、「吉田松陰自賛肖像について」(同山田稔)の講演を行い、会場は超満員の盛況でした。

また、新企画として「アーカイブズ歴史小話」



「アーカイブズ歴史小話」がスタートしました。これは、当館専門研究員がリレー形式で、日ごろの研究成果をもとにした、アーカイブズに

写真 MEMO 2008

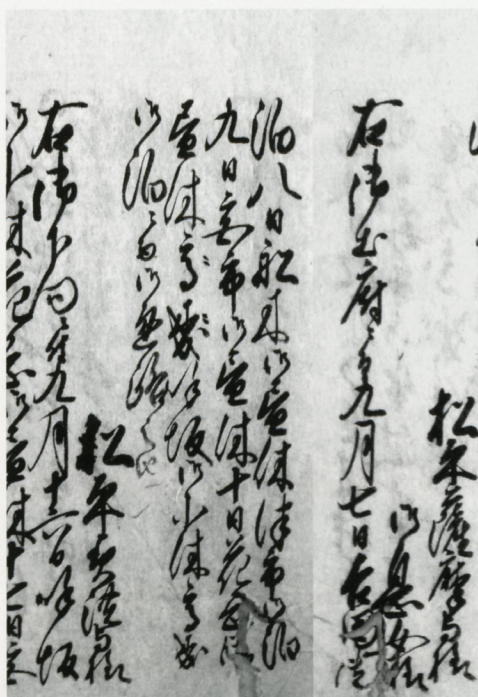


歴史探究講座風景

関する「ちよつといい話」を行うもので、教科書に載っていない生の歴史を紹介しました。わずか一週間の会期ながら一五〇〇名を超える参加者があり、大好評の内に終了しました。

文書の中の篤姫を探せ!

NHK大河ドラマ「篤姫」の高視聴率にあわせて、平成二十年十月一日(水)〜十月十二日(日)、同月二十四日(金)〜十一月十六日(日)、資料小展示「天璋院篤姫と長州―文書の中の篤姫―」展を開催し、篤姫が將軍家輿入れの際に防長を通過した際の記録をはじめ、館蔵の篤姫関係資料を展示しました。期間中多くの方にご来館いただきました。文書館では、豊富な所蔵資料を活かして、今後もタイムリーな展示を行っていきます。(山田)



松平薩摩守様御息女様(篤姫)の通行記録(毛利家文庫・部寄)

新しい目録を刊行しました。

◇『諸家文書目録』8〜9

平生町佐合島佐川家文書

◇『行政文書件名目録』1〜2

山口県布達達書 明治4〜14年分



◇平生町佐合島 佐川家文書目録

佐川家は、江戸時代に萩藩領上関宰判佐合島の庄屋や畔頭を、明治以降は佐賀村会議員、佐合島漁業組合長などを務め、島内の公共諸役を歴任しました。また、塩田や農業経営のかたわら、米を中心に煙草、麦、苧、大豆、海産物、古手類など幅広い商品を売買していました。

佐川家文書は、質量ともに県内有数の地方文書です。この目録によつて、佐合島周辺地域の歴史がより明らかにすることが期待されます。

◇山口県布達達書件名目録

「山口県布達達書」(全二七六冊)は、明治四〜二十六年に令達された県の布達達書、告示、訓令等を収録するものです。明治前期における山口県の動向を知る上で、最も基本的で、欠くことのできない記録です。簡単に内容が検索できるよう、平成十九年度から新たに件名目録の作成を開始しました。現在、明治十四年分まで刊行しています。(和田・山崎)

閲覧を開始しました!

20年度新収

諸家文書を紹介します。



今年度、一三の諸家文書、四八四二点の閲覧

提供を開始しました。概要は表のとおりです。その中から、いくつかの文書群を紹介します。

◇末兼家文書

末兼家は、江戸時代、萩藩一門宍戸家の家臣であった家です。文書群の大半は江戸時代のもので、歴代宍戸家当主の書状、御意書、宍戸家臣連署奉書などで構成されています。なお、天文十八年(一五四九年)の大内義隆一字書出など新出の中世文書一点が含まれています。

◇吉武家文書

明治三十三年に山口歩兵第四二連隊に入隊、同三十八年、日露戦争に従軍し、奉天会戦で戦死した吉武安一氏が、父・知人等とやり取りした書簡類で構成されています。明治後期の一兵士のありようを物語るものとして貴重な文書群です。

◇久幸虎雄文書

久幸虎雄氏は、昭和八年、県に奉職し、戦後は山口国体事務局次長、労働民生部長など要職を務めました。氏在职中の辞令書一式がまとまって残されているほか、昭和戦後直後の進駐軍関係の写真が多数含まれています。(山崎)

No.	文書名	点数	主な文書の年代	文書群の特徴(関連地域、個人・家の歴史、就任役職等)
1	和泉家文書	10点	近代	大正期国勢調査資料
2	岡田学収集史料	5点	近世	幕末維新时期萩藩関係文書
3	小川五郎収集史料(追加分)	174点	近世〜現代	歴史研究者/維新関係者書状・鈴木高鞆(国学)関係文書等
4	佐藤正彦収集資料	593点	現代	文化財(建造物)調査関係資料
5	末兼家文書	269点	中世〜近代	周南市小松原/中世文書/陪臣(萩藩士宍戸家家臣)
6	澄田家文書	320点	近世〜現代	周南市戸田/陪臣(萩藩士堅田家家臣)/始審裁判所判事/小学校訓導
7	田村哲夫文庫	1,672点	近世〜現代	歴史研究者/研究資料
8	榑崎隆蔵関係文書	51点	近世	萩藩第二奇兵隊書記
9	久幸虎雄文書	425点	近代〜現代	県職員(労働民生部長他)/辞令書/進駐軍関係写真
10	松本淳収集史料(追加分)	30点	近代	収集史料/長州叢書他
11	吉崎家文書(追加)	225点	近世〜現代	上関町/室津浦年寄/室津信用購買販売利用組合理事 *小郡宰判下郷津市年寄・西村家文書含む
12	吉武家文書	525点	近代	宇部市船木/山口歩兵第42連隊軍曹
13	木梨家文書	543点	中世〜近代	中世文書/萩藩士(手廻組)/長野県知事/元老院議員

歴史的文書・記録を永久保存し続けて50年

山口県文書館 開館50周年

記念事業年間スケジュール
(各イベントすべて参加無料)

❖第4回 中国四国地区アーカイブズウィーク

6月2日(火)～9日(火)※8日(月)は閉館

- ①特別シンポジウム 6月6日(土)
「関ヶ原シンポジウム～西軍大名の江戸時代～」
- ②アーカイブズ展示 6月2日(火)～9日(火)
「天下人と毛利氏～戦国のアーカイブズ～」
- ③文書館書庫見学ツアー 6月2日(火)～7日(日)
- ④ギャラリートーク 6月6日(土)～7日(日)
- ⑤文書館を使ってみよう! 6月2日(火)
- ⑥アーカイブズ歴史小話 6月5日(金)

❖アーカイブズ展示

- ①山口県文書館50年のあゆみ展 5月～6月、10月～12月
- ②隠れたアーカイブズたち～軸物類アーカイブズ～展 5月～6月
- ③国指定重要文化財 大内版法華経板木展 10月～12月
- ④幕末維新アーカイブズ展 10月～12月
- ⑤シリーズ アーカイブズを守る 4月～平成22年3月
 - ①山口殿中文庫～大内氏と文書保存～ ②萩藩の文書管理～勝手に棄てるな～
 - ③1166冊の日記～徳山藩御蔵本日記～ ④絵図を作った男たち～萩藩絵図方の挑戦～
 - ⑤焼け焦げた文書を救え! ⑥市町村合併と文書保存
- ⑥特別アーカイブズ展示 10月24日(土)～11月1日(日)
「吉田松陰没後150年記念 吉田松陰自賛肖像展」

❖絵図を片手に街を歩こう

10月 開催地/下関市・山口市・周南市・周防大島町



山口県文書館

各イベントの詳細につきましては山口県文書館へお問い合わせください
〒753-0083 山口市後河原150-1 TEL 083-924-2116 <http://ymonjo.ysn21.jp/>



山口県文書館

〒753-0083 山口県山口市後河原150-1
TEL083-924-2116 FAX083-924-2117 <http://ymonjo.ysn21.jp/>

利用時間

- 【開館時間】 火曜日～日曜日 9:00～17:00
- 【閉館日】 月曜日、祝日、月末整理日、月曜日が祝日の場合は翌火曜日
年末年始 (12月28日～1月4日)
春秋資料整理期間 (5月26日～31日、11月25日～12月3日)

※文書館は山口県立山口図書館と同じ建物内にあります。
閲覧室へは2階へお上がりください。
※毎月の開・閉館日は、当館ホームページの閲覧室カレンダーをご覧ください。

〔表紙写真〕「行程記」(山口部分、毛利家文庫、山口県文書館蔵)